



めざせ太陽の子



e-mail アドレス younan-es@tym.ed.jp

HP アドレス <http://www.younan-e.tym.ed.jp/>

2月16日(水)校内なわとび大会を行いました。例年であれば、個人の部と8の字跳びの部の合計点で班ごとに競うのですが、今年度は個人の部のみ行い、一人一人の得点の合計で競いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの学年が体育館に入り、他の学年は教室でオンライン中継を見て応援する、跳び終わったらローテーションするという形式で行いました。難しい技に挑戦すれば高得点を狙えるので、どの技にしようか子供たちは作戦を練りながら、大会に向けて、とても一生懸命練習してきました。

練習の成果を発揮したいという気持ちが強すぎて緊張が高まったこと、初めて上学年と一緒に跳ぶことなどから体が固まってしまい動けなくなった1年生もいました。けれども、同じ班の子や担任の先生の励ましの言葉によって、落ち着きを取り戻し、自己最高記録を達成することができました。また、はやぶさ跳び(二重跳びをしながら、あやとびをする技)で、なわが体に当たってとても痛いのに顔をゆがめながら我慢して跳んでいる5年生の姿もありました。

これからも、がんばってできるようになった、緊張したけれど乗り越えることができたという経験ができる場を設定するとともに、意欲的に取り組んでいけるよう、継続して支援していきたいと思います。



優勝した青4班、班長の6年 NKさんに優勝インタビューをしました。



質問 今の気持ちを聞かせてください。

答え とてもうれしいです。

質問 Kさんのなわが切れた時、どういう気持ちでしたか？

答え まずいと思いました。でも直前の練習の時、なわが切れていたのも、もしかしたら、また切れるかもと予想していました。準備していたので、素早く自分のなわを渡すことができました。Kさんが難しい技でたくさん点を取ってくれ、優勝できて本当によかったです。

競技中のメンバーのなわが切れるというハプニングにも冷静に対応し、班を優勝に導いた大ファインプレーでした。インタビューへの受け答えも、はきはきと分かりやすくその時の状況や自分の思いを語ってくれました。



うらもあります。

がんばった陽南っ子

北日本新聞新年小学生作品コンクール

習字 銀賞 6年 UR
習字 入選 3年 NN

第63回富山県小・中・高校生書初め大会

特選 6年 OS
特選 3年 MK



「はね」「はらい」「止め」などに気を付けて、全体のバランスを考えながら、心のこもった素晴らしい字を書き上げていました。

ワクワクドキドキチャレンジデー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校では、他学年と一緒に遊ぶことができません。そこで、日時をずらして密を避け、簡単なゲームで対決することで、全校で楽しもうという企画を運営委員会が考えてくれました。ボールを投げてフラフープを通し、ウイルスに命中すれば1点獲得でき、2分間で何点取れるかを学年ごとに競います。学年に応じてボールを投げる距離が変わります。子供たちは夢中になって、的を狙っていました。さて、何年生が優勝するのでしょうか。優勝した学年には何か楽しいことが待っているそうです。



今までありがとう、これからもがんばってねという思いを込めて

5年生は6年生に今までの感謝の気持ちを表し、あと少しとなった小学校生活を思いっきり楽しいものにしてもらおうと卒業を祝う会、祝う週間の企画・運営に張り切って取り組んでいます。1～4年生は自分たちの役割をしっかりと果たし、よりよいものにしようとしてがんばっています。祝う週間では、鬼ごっこ、クイズ、記念撮影、フルーツバスケット、福笑いなど、祝う会では、クイズ、ダンス、プレゼント、ゲームなど、学年の特色を生かした交流や発表を行う予定です。どんな集会になるか、とても楽しみです。



6年生と鬼ごっこ（1年）

どこが変わったでしょうクイズの練習（2年）

6年間一緒にいればそろそろよねゲームの練習（5年）

学校だよりはホームページでも見ることができます。配布文書—学校だよりをクリックしてください。

